

区 分	担当課	評価	評価の説明
<b>1 新型コロナウイルス感染症への対応</b>			
<b>① 地域住民の安心安全な医療提供体制を堅持します。</b>			
<p>感染病棟には、一般の患者さんと接しない専門のスタッフを配置し、院内感染対策に万全を期します。                      医師会をはじめ、保健所や地域の医療機関との連携をより一層深め、地域で感染者が増加するような場合、特定の病院に患者が集中することで医療崩壊を起こさないよう、重症な患者は設備の整っている函館病院で受け入れ、軽症の患者はほかの病院で受け入れるなどの役割分担の協議を進めます。</p>	庶務課ほか	A	<p>この地域での新型コロナウイルス感染症の発生（令和2年2月）以降、函館病院では令和3年3月末までに、実人数で172人の患者さんを受入れました。                      これは函館市で入院が必要なコロナ患者の約9割にあたりますが、人工呼吸器、ECMO等が必要な重症患者については、全員を函館病院で受入れし、重篤な患者さんを数多く救命いたしました。</p>
<b>2 患者サービスの向上と業務の改善</b>			
<b>① 患者ニーズに対応した院内スペースの見直し、患者サービスの向上を図るとともに業務改善を目指します。</b>			
<p>外来スペースでは、函館病院の救急外来や外来化学療法室のほか、内視鏡室およびリハビリ室の拡張を図ります。</p>	庶務課ほか	B	<p>救急外来については、新型コロナウイルス感染症の疑い患者への対応を可能とし、外来化学療法室は混雑緩和のため、広いスペースの場所に移転いたしました。                      内視鏡室、リハビリ室の拡張は、次年度以降に検討いたします。</p>
<p>入院スペースでは、函館病院の集中治療室（ICU）の増床を図ります。</p>	医事担当課ほか	A	<p>8床で運用していたICUは10床に増床しました。</p>
<p>外来の混雑緩和に向け、逆紹介の強化に努めるとともに外来診療の体制および運用の見直しを図ります。</p>	医事担当課ほか	A	<p>外来の混雑緩和のため、職員による外来患者の誘導や再来受付機等設置箇所の見直しを行ったほか、電話による処方箋の発行等を実施しました。                      また、他医療機関との連携強化のため、患者紹介に対する返書の管理等を行う連携文書管理システムを導入し、令和3年3月から運用を開始しました。</p>
<b>3 働きやすい環境づくり</b>			
<b>① 働き方改革が進む中、様々な業務の効率化を進めるとともに、医師や看護師、薬剤師、技師などのスタッフが職種の垣根を越えて互いに支え助け合うチームをつくり、医療現場の環境改善に取り組むことで、より質の高い医療と心優しいケアを実践し、働きやすい病院を目指します。</b>			
<p>職種の垣根を越えた協力のもと業務の見直しを図り効率化を進めます。</p>	庶務課ほか	A	<p>職種ごとの専門性を生かしつつ、多職種協働を図り、業務改善と医療現場の環境改善を図りました。                      また、新型コロナウイルス感染症入院病棟の看護師の負担軽減のため、リハビリ職員が患者さんの体位交換や食事介助などの応援に入る体制を構築しました。</p>
<p>スタッフの確保と定着を図るための様々な取り組みを進めます。</p>	庶務課ほか	A	<p>機構改革（薬剤部の2科体制、臨床病理科管理係、感染管理室、患者サポートセンター・医療企画センターの新設）を行い、職種や所属の垣根を越えた円滑な業務運営が図られ、より職員が働きやすい環境に改善できました。</p>
<p>チーム医療の拡大に取り組みます。</p>	庶務課ほか	B	<p>機会あるごとに、チーム医療の必要性、重要性について職員に啓蒙し、職員の意識改革を図っており、多職種によるカンファレンスを中心に情報共有を行っております。</p>